

2021年4月1日

九創会会長 鍵本 忠尚

九創会設立趣意書

人類の歴史を紐解けば、文明を進めて来た原動力の根幹に、革新的な技術の発明と、その社会実装がある。そして、技術を発明から社会実装へと実現足らしめる、最も強い仕組みが、資本主義である。その資本主義の成功の鍵は、株式会社の創業経営と、直接金融を通じた成長資金提供にある。

日本は国際的に見ても競争力となりうる多様な要素技術を持っているにも関わらず、国際社会で見れば資本主義の運用を社会全体として十分に習熟しきれておらず、結果、潜在的可能性を引き出せず、国際的経済戦争におけるリーダーシップを失って久しい。

その一つの証左が、個人資産が異常な程、現金資産に偏っており、直接金融に回っていない事である。これは国民に対する資本主義に関する教育の失敗によるが、逆に言えば、この資金が直接金融に回りだした時、日本国は大きく成長へ向けて舵を切れる可能性がある。

九州大学は九州に於ける最高学府として、世界に伍する技術を産み、社会実装における資本主義の運用を推奨し、それを担う人材を育て、日本の国際競争力を再興する礎を作る事が出来る。資本主義は正しく理解され運用されれば、これほど力強い道具は無い。一方、あらゆる道具がそうであるように、正しい運用には正しい実地教育が必要である。

九州大学が10年かけて培った QREC というアントレプレナーシップ教育の礎の上に、実学として、ここに、九州大学に学び、株式会社に準じる組織を無から創立し、資本主義の運用を習熟する創業者達が集い、日本の技術立国を支え得る人材を大いに啓蒙する事を目的として、九創会を設立する。

我々の活動が、今一度、豊かな国家を再建する礎となる事を祈願して止まない。